

未来 mirai

一人一人が夢をもち
未来を生きる力のある子



琉球大学教育学部附属小学校

学校だより 第6号

発行 令和7年6月20日(金)

文責 校長 石川 博久



学校ホームページ

平和・幸せな社会は誰が創るの？ 戦争体験者はどのような思いで生きてきたのだろうか？

6/13(木) 平和を考えるお話朝会がありました。はじめに、校長先生は「私は『平和』って、全ての人が『幸せ』を感じるのだと思いますが、みなさんはどう考えますか？」と問い、さらに「では、みなさんにとって『幸せ』って、どんな状況を言いますか？」と問いかけました。

続けて「幸せって…戦争がないこと。それは当たり前。裕福な生活をする？ やりたいことを実現するためにお金も必要だね。私は、幸せって何よりも自分らしく生きることだと思います。みなさんはどう思いますか？ 最近の世の中を見ると、交通ルール違反、ゴミのポイ捨て、盗み、暴力などが日常的に起こっています。日本は戦争は起こっていませんが、本当に安心・安全な社会、平和で幸せな社会と言えますか？ では、幸せな社会って誰が創るのですか？ そうですね。自分たちが創っていくのです。私たちはそのために、学校で先生や仲間と多くのことを体験し学んでいるのです。その学んだことを社会に出た時に生かすことができる人になるために、今は『学校』という『小さな社会』で、全児童が安全・安心して楽しく幸せを実感できる学校づくりをめざしているのです。」と話しました。

①



②



③



そして、最後に校長先生は、沖縄戦後の三枚の写真を提示し、次のように問いかけ、学級でも先生や友達と戦争体験者が戦後どのような思いで生きてきたのか考え続けてくださいと話をもとめました。

- ① 北部収容所の写真 「夫を失ったお母さんたちは我が子をどのような思いで守ってきたのでしょうか？」
- ② 孤児院の写真 「親を失った子供たちは悲しさをどのようにのりこえてきたのでしょうか？」
- ③ 収容所の写真 「弟を抱えた少女は心で何と言っているのでしょうか？」

来週6月23日は慰霊の日です。戦後80年。ぜひ、沖縄戦のことを知り、亡くなった多くの方々の冥福(めいふく)を祈り、二度と戦争はしないと誓い、戦争体験者がどのような思いで生きてきたのか、平和で幸せな社会を創るのは誰なのかなどについて、親子で考える時にしていただきたいと思います。

<保護者の皆様へのお願い> ご理解とご協力をお願いいたします!(^^)!

1. 連休明け、6/24(火)2・3校時は授業参観となっています。公私ともに忙しい中ですが、ぜひ子供たちと先生方が学び合っている姿を参観にいらしてください。非行防止教室の授業は、各学級で行います。浦添署警察官が外部指導者として来校、指導していただき、子供たちがSNSの正しい使い方などを考える内容となっています。子供たちが犯罪に巻き込まれないためにも、親子でも考えていただきたい大切な内容ですので、保護者の皆様もしっかり聞いていただきますようよろしくお願いいたします。

2. 水泳学習は、体育館や運動場での運動とは違い、水中での運動・活動になりますので、安全指導を怠ったり、児童本人がふざけてしまうと、大事故につながる可能性があります。ぜひ、ご家庭においても、安全指導について確認すること、日頃から我が子の体調管理をすること、特に水泳学習の前日は早めに休むこと、当日は朝食をしっかり摂り、健康状態を親子でチェックし、入水するか判断し『プールカード』への保護者サインをすることなどよろしくお願いいたします。